

## 石灰石のR6年度需給 中間見直し

### ■ 事業環境

- 国内の建設業界は、前年度から引き続き現場技術者不足と資材価格高騰が継続している。今年度はこれらに加えて建設業界の労働時間規制への対応（建設2024年問題）が重しとなり、建設現場では計画・設計の見直しや工期の延長が常態化しており、生コン出荷量およびセメントの国内販売は下振れして推移している。
- 鉄鋼関連は、内需が低調なことに加えて、中国経済の低迷から日本を含むアジアへの鋼材輸出が顕著となり普通鋼材の市況が低迷して、国内の粗鋼生産は下振れして推移している。

### ■ 石灰石事業

- 令和6年度上期の石灰石の生産・出荷については、建設関連および鉄鋼関連が昨年度より低調なことから昨年度を若干下回って推移した。
- 令和6年度下期は、国内においては建設業界の労働時間規制への対応が徹底されると想定され、海外においては緊迫化する中東情勢が原油価格に及ぼす影響がリスク要因として意識されることから、石灰石の需給は上期の基調からいくらか下振れる可能性を意識しておく必要がある。

### ■ 需要家業界の動向

	R5年度 上期実績	R6年度 上期実績		R5度 実績 A	R6年度 見通し		対前年 増減 B-A
			前年比(%)		B	前年比(%)	
建設関連							
セメント 国内販売 (百万ト)	17.4	16.3	▲ 6.1	34.6	33.0	▲ 4.5	▲ 1.6
輸出 (百万ト)	3.3	4.1	22.9	6.9	8.4	22.9	1.5
生産 (百万ト)	23.2	22.7	▲ 2.3	47.2	47.2	0.0	0.0
生コン 出荷 (百万m <sup>3</sup> )	35.3	33.0	▲ 6.4	70.2	67.0	▲ 4.5	▲ 3.2
鉄鋼関連							
粗鋼 生産 (百万ト)	43.8	41.8	▲ 4.4	86.8	83.9	▲ 3.4	▲ 2.9
石灰 生産 (百万ト)	3.6	3.5	▲ 2.7	7.2	7.0	▲ 2.7	▲ 0.2

### ■ 石灰石の生産量・出荷量

	R5年度 上期実績	R6年度 上期実績		R5度 実績 A	R6年度 見通し		対前年 増減 B-A
			前年比(%)		B	前年比(%)	
建設関連							
セメント向け (百万ト)	24.1	23.9	▲ 0.6	48.9	49.0	0.0	0.1
骨材向け (百万ト)	13.9	13.4	▲ 3.5	27.8	26.5	▲ 4.5	▲ 1.3
(小計) (百万ト)	38.0	37.3	▲ 1.8	76.7	75.5	▲ 1.6	▲ 1.2
鉄鋼関連							
鉄鋼向け (百万ト)	8.7	8.3	▲ 4.8	17.0	16.4	▲ 3.4	▲ 0.6
石灰向け (百万ト)	4.0	4.0	▲ 1.0	8.3	8.2	▲ 1.0	▲ 0.1
(小計) (百万ト)	12.7	12.3	▲ 3.1	25.3	24.6	▲ 2.8	▲ 0.7
その他 (百万ト)	5.3	5.1	▲ 3.2	10.5	10.2	▲ 3.2	▲ 0.3
輸出 (百万ト)	2.8	3.3	19.7	5.8	6.9	19.7	1.1
出荷量 (百万ト)	58.8	58.0	▲ 1.2	118.2	117.1	▲ 0.9	▲ 1.1
生産量 (百万ト)	58.8	58.0	▲ 1.4	119.0	117.9	▲ 0.9	▲ 1.1

単位：千ト

石灰石生産量の推移

